

未来に向けて

迎春

2005

年頭のあいさつ

校が野球やソフトテニスなどスポーツ分野で活躍しました。

三年目を迎えた「ふだいまるごと海産まつり」も、悪天候にもかかわらず、村内外から村の人口を超える五千人以上が訪れるなど盛況に終わりました。開発を進めていた養殖コンブの未利用部分を活用した「普代こんぶ饅頭」も完成し、好評を得ています。いずれの取り組みも、みんなの大きな財産として育ってきたと確信できるものです。

六月には野田村との任意合併協議会が解散するなどの結果となりましたが、当面は自立を選択し、第四次の行財政改革大綱と同プログラムを策定した今年は、村民一丸となって取り組んでいこうとするものです。普代村は今、まさに正念場を迎えています。

村の課題の行財政改革は、今始まったばかりですが、新たな道筋を探りながら、改革プログラムを着実に推進し、最善の道を切り開いていかなければならないと考えています。これまでみんなで築き上げてきたこの地域を、さらに、安全で安心して暮らせる普代村とするために、決意を新たにします。

新春を迎え、普代村のむらづくりに向けた一端を申し上げ、村民の皆さんと大きく躍進する年とすることを誓い合いたいと思います。

村民の皆さんの、なお一層の村づくりへのご参加、ご協力をお願い申し上げますとともに、今年一年、皆さんのご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。